



JASDAQ

平成 22 年 11 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社ジー・テイスト
代表者名 代表取締役社長 稲吉 史泰
(J A S D A Q ・ コード番号 2694)
問合せ先 常務取締役 川上 一郎
(TEL. 022 - 237 - 5566)

平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間業績予想との差異
及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 22 年 8 月 13 日付当社「平成 23 年 3 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」にて発表いたしました業績予想を下記の通り修正いたします。

記

1. 平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間個別業績予想数値の修正 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日)
(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	8,897	△77	15	△451	△8.11
今回発表予想 (B)	8,618	△253	△188	△640	△11.51
増 減 額 (B-A)	△278	△176	△203	△189	△3.40
増 減 率 (%)	△3.13	—	—	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 22 年 3 月期第 2 四 半期)	7,089	114	199	△181	△4.52

2. 修正理由

当第 2 四半期累計期間におけるわが国経済は緩やかに回復しつつあるものの、改善の動きが弱まっている状態が続き、依然株価の低迷や景気の先行きに対する不透明感から引き続き厳しい環境で推移しております。

このような状況下、寿司事業においては、FC 店舗 3 店舗を海外出店した一方で FC 店舗 4 店舗の撤退により、当第 2 四半期累計期間末の直営店舗数は 86 店舗、FC 店舗数は 26 店舗となりました。また、お客様の来店動機を高める目的で 7 月は「逸品紀行」、8 月及び 9 月は「厳選 旨味祭」等の期間限定フェア等を開催したほか、グランドメニューの変更により、旬の食材をお客様に提供いたしました。また、競合店との競争激化や消費者の節約志向の高まりにより来店客数が減少いたしました。

一方、売上高に対する管理コストの削減、事業上のシナジー効果を目的として、平成 22 年 5 月 27 日にフード インクルーヴ株式会社を吸収合併することを決議し、同年 7 月 1 日に吸収合併しま

した。

その結果、居酒屋等事業においては、フード インクルーヴ株式会社との合併に伴い直営店 12 店舗、FC 加盟店 203 店舗の増加したほか4 店舗を新規出店しました。また不採算店舗 8 店舗を閉店、さらに、6 店舗で業態を変更し、当第 2 四半期累計期間末の直営店舗数は 158 店舗、FC 店舗は 305 店舗となりました。

売上高におきましては、既存店売上高が前年比 13.6%減と低調に推移する中、個人消費の減退感が継続すると想定できることから新規出店計画の大幅な見直しを行い、当第 2 四半期累計期間における出店を 4 店舗のみ（当初予定：6 店舗）といたしました。以上の結果、8,618 百万円（当初予想比：278 百万円の減少）となる見通しです。

利益につきましては、既存店の売上高が予想を下回ったこと及び出店計画の見直しにより売上総利益が当初の想定より減少いたしました。また、売上高の減少により売上高に占める管理コスト比率の低減が想定を下回った結果、利益率が低下し、営業損失 253 百万円（当初予想比：176 百万円の減少）、経常損失 188 百万円（当初は 15 百万円の利益）、当期純損失は 640 百万円（当初予想比：189 百万円の減少）となる見通しです。

3. 平成 23 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	18,323	113	317	△199	△3.49
今回発表予想 (B)	17,749	△59	118	△380	△6.31
増減額 (B-A)	△573	△172	△199	△181	△2.82
増減率 (%)	△3.13	—	△62.7	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 22 年 3 月期)	15,966	263	401	292	6.69

4. 修正理由

売上高は、平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間個別業績予想数値の修正理由に記載の通り、既存店売上高が前年比 13.6%減少する中、新規出店計画を大幅に見直し、第 3 四半期会計期間以降の新規出店を行わない方針（当初予定：8 店舗）としたことから、17,749 百万円（当初予想比：573 百万円の減少）となる見通しです。

利益につきましては、上記同様、既存店の売上高が予想を下回ったことによる利益率の低下、及び売上高の減少による売上総利益の減少により、営業損失 59 百万円（当初は 113 百万円の利益）、経常利益 118 百万円（当初予想比：199 百万円の減少）、当期純損失は 380 百万円（当初予想比：181 百万円の減少）となる見通しです。

以 上